

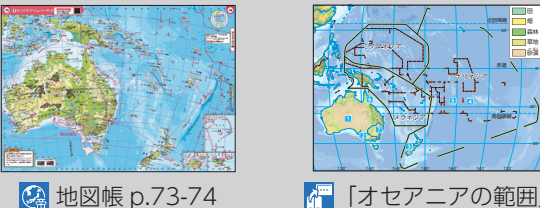
デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.122-123 オセアニア州の自然環境
2. 目標 (1) オセアニア州の自然環境の特色を、一般図や主題図から読み取り、理解することができる。
(2) オセアニア州の気候の特色を、雨温図の読み取りから考察することができる。

3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・ オセアニア州の地形の特色を、地図や写真から読み取り、理解している。
思考・判断・表現	・ オセアニア州の気候の特色を、緯度などの位置関係から考察している。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
節の見通し	0. 「写真で眺めるオセアニア州」を題材にし、「節の問い」への見通しを持つ。	 p.120-121 1～7 写真から、オセアニア州について知っていることを挙げてみよう。 「節の問い」について、学んでみたいことや、疑問に思ったことを自分の言葉で表してみよう。 解決のために、何が分かればよいか、どのようなことを調べればよいかなど、見通しを立てよう。	○ 知っている風景や国名などを挙げさせながら、オセアニア州への関心を高めさせる。 ○ 植生や人々の服装、暮らしの様子にも着目させる。 ○ 「学習の見通し・振り返りシート」へ記入させ、節の学習の見通しを持たせる。
導入	1. 「写真で眺めるオセアニア州」を題材にし、本時の課題をつかむ。 2. オセアニア州の自然環境の特色を予想し、学習課題への見通しを持つ。	 p.120 1 p.121 4 オーストラリアや太平洋の島々の写真から、オセアニア州の自然環境について予想してみよう。	○ 写真を見せながら、本時への導入を図る。 ○ どのような地形や気候になっているのか予想させ、自由に発表させる。 ○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。
	学習課題：オーストラリア大陸と太平洋の島々からなるオセアニア州では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。		
展開	3. オセアニア州の地形の多様性を理解する。 (1) オセアニア州の位置	 地図帳 p.73-74 「オセアニアの範囲」 オセアニア州の位置と海洋の名称を確認してみよう。	○ 学習プリントを活用し、オセアニア州の位置を確認させる。 ◆ 赤道の位置や大洋名から、大まかな位置をイメージさせ、太平洋の島々が三つの地域に分けられることを理解させる。

(2) オセアニア州の地形



p.122 2



地図帳 p.75-76 ①

オーストラリア大陸とニュージーランドの地形を比べてみよう。

(3) サンゴ礁の島々



p.122 1

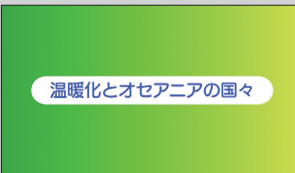


p.121 5

太平洋の島々にはどのような地形がみられるのだろうか。



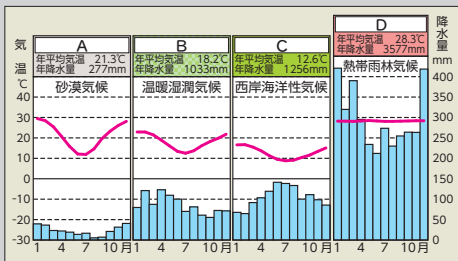
p.123 6



「温暖化とオセアニアの国々」

この地域ではどのような問題が起こっているのだろうか。

4. オセアニア州の気候の特色を理解し、雨温図の都市の位置を考察する。



p.123 7

フナフティの雨温図

オセアニア州の気候の特色を読み取ろう。

5. 本時のまとめをする。

オセアニア州の地形と気候の特色について、オーストラリア大陸、ニュージーランド、太平洋の島々に分けて説明しよう。

6. 学習課題への振り返りの活動を行う。

「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。

○ オーストラリア大陸や太平洋の島々の地形の特色に注目させる。
◆ オーストラリア大陸はなだらかだが、ニュージーランドやニューギニア島には険しい山脈があることに気付かせる。

○ オセアニア州にはサンゴ礁からなる島々も多いことを確認させる。

◆ 太平洋にはサンゴ礁に取り囲まれた島々が多く、貴重な観光資源になっていることを理解させる。

○ 資料から、サンゴ礁の島々で起こっている問題を考えさせる。

◆ 地球温暖化による海面の上昇が深刻な問題になっていることを理解させる。

○ 学習プリントを活用し、オセアニア州の気候の特色を説明させる。

◆ 雨温図から都市名を考えさせ、オセアニア州の気候は、オーストラリア内陸部、オーストラリア沿岸部、ニュージーランド、太平洋の島々におおまかに分けられることを理解させる。

◆ オセアニア州の自然環境について、なだらかな平原が広がるオーストラリア大陸では内陸と沿岸で気候が異なること、ニュージーランドは温帯で険しい山々が連なること、熱帯の島々ではサンゴ礁がみられることなどを説明できたか確認する。

○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。